

# 東日本大震災ルーテル教会救援

## Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.13

2012年11月度 活動報告 (2013年1月15日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている  
皆さまに心より感謝いたします。



2012年12月7日、再び大きな揺れが東北を襲い、日が落ちて暗くなった被災各地に津波警報が出され不安な夜を迎えました。さいわいなことに、大きな被害はありませんでしたが、まだ2011年3月11日の傷が癒えない中で、当日を彷彿させるさまざまな状況に再び精神的なダメージやそれに伴う身体症状を訴える方もいらっしゃいます。改めて支援の重要性を感じました。11月の活動を報告いたします。



### 【東松島】 走れ!仙石線



震災による津波によって、宮城県第一の都市、仙台と第二の都市、石巻を結ぶJR仙石線も大きな被害を受けました。現在でも一部区間は復旧したものの、全通までにはまだまだ時間がかかりそうです。



その不通区間にある東松島市の東名(とうな)駅周辺で一日も早い仙石線全通を願い、地域イベント「第二回『走れ仙石線』」が開催されました。



となりびともイベント支援として北海道名物の「芋もち」の模擬店を出店しましたが、用意した200食はあっという間に完配。お店の前には常に行列ができていました。「ボランティアさんと話す機会も少なくなってきたから、今日は久しぶりに楽しい」などお声をかけていただきました。いまなお一階が津波を被ったままのお宅で暮らす方など、さまざまな状況の方が来場されていました。

### 【となりびと】 2011年の活動と今 ～救援活動開始から1年を過ぎて



2011年の11月は、毎週5～6名のボランティアさんがとなりびとに来て、瓦礫拾いや物資運搬、汚れた写真の洗浄などの支援活動に取り組んでいました。



介護の仕事ができるボランティアの方には、人手不足で困っていた女川町の介護施設に泊まり込み介護ボランティアをして頂きました。スタッフも入れれば毎日10人近くがとなりびとで活発に活動を展開していました。



それから1年たった今は、現地のニーズの変化に伴い、となりびとで活動するボランティアも1か月で5人程度となりました。物資の支援等は終わり、大きくは仮設支援とコミュニティセンターの再建支援など地元の人たちとともに展開するプロジェクトに絞られています。

ただ、被災地の風景は1年たってもそれほど変わっていないのが実感です。(佐藤)

### 【各地でのご協力】 報告会



3日・4日、東京・三鷹市にあるルーテル学院大学で恒例の愛(めぐみ)祭が行われました。その中で、今年の8月に「となりびと」でボランティア活動を行った学生の方々の報告会が行われました。また被災地支援商品も販売していただきました。



23日、日本福音ルーテル松本教会にて「東日本大震災被災者(地)を忘れない～傍観者とならないために」をテーマに甲信地区「信徒の集い」が開催され、となりびとの活動報告もさせていただきました。

